

## 松里ブロック交流研究会

### 『同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために 小・中・地域の交流と連携を深めよう』

#### I、主題設定の理由

- ・同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行う。
- ・地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- ・小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

#### II、研究の内容

##### 1 第1回ブロック交流研究会 臨地研修

- (1) 日時 8月13日(水)
- (2) 場所 甲州市塩山小屋敷「笛吹川芸術文庫」
- (3) 目的 地域の文化財の見学を通して地域を知り、子どもの学習に役立てる。
- (4) 内容 「松尾神社の由来について」 講師 甲州市生涯学習課 飯島泉様  
「笛吹川芸術文庫の見学」 講師 (株) 笛吹川芸術文庫代表 幡野武夫様
  - ・笛吹川芸術文庫の茅葺切妻造り民家(19世紀中頃の建築、直屋としては県内最大規模)の内部を見学し、面戸板や間取りなどの説明を伺う。
  - ・昭和の作家三島由紀夫が学生時代に書いた手書きの原稿や学習院高等科時代に使用した教科書(書き込みあり)など貴重な資料を見せていただいた。

##### 2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 11月5日(水) 授業参観 13:45~14:30  
全体会 14:45~16:00
- (2) 場所 松里中学校
- (3) 目的 中学校の授業の様子を小学校職員が参観し、松里地区の課題を明らかにし、小中連携して子どもたちの健全な育成を図っていく。
- (4) 内容
  - ① はじめの言葉
  - ② 学校長の話と学校の概要
  - ③ 学年の現状と取り組み
  - ④ 質疑
  - ⑤ 終りの言葉

### 3 第3回ブロック交流研究会

- (1) 日時 1月14日(水) 15:30~17:00
- (2) 場所 井尻公民館ホール
- (3) 目的 有識者の講演を聞くことにより、小中連携の手がかりをつかむ機会とする。
- (4) 内容 講演会「小中の連携について」 講師 宇野五千雄様
  - ・教育界を取り巻く歴史と現状
  - ・長野県浪合小学校の校舎と小中一貫教育実践
  - ・総合を中心としたカリキュラムチェックや生徒指導、異年齢交流や人事交流などの提起

### 4 成果と課題

#### (1) 成果

- ・小中一貫、連携教育に求められるのは、学校や地域を基盤としてのカリキュラムづくりであろう。まず、子どもの実態や地域の様子を把握するところから始めたい。その意味からも夏の臨地研修、授業参観・情報交換、講演会は有効であった。進みは遅くとも着実に進めていきたい。
- ・3回の研究会がいろいろな形で学ぶことができ、毎回意欲的に参加できた。
- ・夏の臨地研修では、このような機会がなければ見られない場所でも良かった。
- ・「笛吹川芸術文庫」の見学は、地域の歴史や建築、貴重な資料を見ることができてよかった。
- ・中学校の授業参観は、卒業した子どもたちの様子を知ることができて、よかった。
- ・講演会の内容はとても参考になった。幅広い見地から、小中の連携について示唆していただき、これからの方向性が見えてきた。

#### (2) 課題

- ・小中連携の可能性、それによってめざすべき事柄は幅広い、しかしあまりに多くのことを望んでも無理が生じる。共通のテーマを決めて、それを中心に据えながら協同的に進めていくようにすることも考えていきたい。
- ・テーマごとにグループに分かれて話し合う、テーマをしぼるなど、意見を出しやすく工夫すると、より交流が深まると思う。

#### (3) 来年度に向けて

- ・同じ学区でも小中の交流はなかなか持てないので、大切な研究だと思う。
- ・三回という限られた時間での設定は難しいと思うが、内容が豊富で有効だった。
- ・今年度から内容を変えたので、三年間はこの方向で続けていく必要があると思う。

(ブロック長 雨宮由縁)